

1 課 **はじめと終わりが正しく対応した文**

文章にまとまりを持たせるためには、文と文とが自然につながるようにすることが大切です。その基本として、それぞれの文も始めと終わりが正しく対応していなければなりません。それには、以下のことに注意する必要があります。

A 主語と述語の対応

主語と述語の関係には次の四つの型があります。長い文では主語と述語が離れていますから、注意が必要です。

主語	述語	例
何が(は) 名詞	何だ。 名詞	ここは50年前、静かな農村だった。 事故の原因はスピードの出すぎである。
何が(は) 名詞	どうだ。 イ・ナ形容詞	富士山は雪景色が特に素晴らしい。 健康な生活をおくるには、良い生活習慣が大切だ。
何が(は) 名詞	どうする。 動詞	明日からYホールでゴッホの展覧会が開かれる。 今年は、この地方は4回も台風の被害を受けた。
何が(は) 名詞	ある・いる。	駅前には自転車置き場が数か所ある。 わたしは今、ゆっくりテレビを見る時間がない。

B 文末の制限-1 決まった文末をとる表現

1. なぜなら・というのは・なぜかという + ~から(ため)である →第3部10課

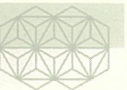
例・わたしは結局国へは帰らないで、日本に残ることにした。というのは、日本の精神風土がわたしに合っていると思われたからである。

2. ~かという + 「~」を否定する文

例・この作家の作品がすべて歴史的なものばかりかという、そんなことはない。中には軽いタッチの旅行案内もある。

3. ~の(=理由・原因)は + ~から(ため)である・…である

例・今年の米の収穫量がいつもの年より少なかったのは、夏、天候が安定しなかったためである。  
・わたしは教師の道を選んだ。迷いなく選んだのは、教師だった父の影響だろう。



4. ~には + ~が多い・…がある・…が見られる

例・この地球上には、貧しいために教育を受けられない子供たちがいる。  
・このアンケート調査には、いくつか不十分な点がある。

5. ~には + ~が必要だ・…が便利だ・…がかかる・…なければならない

例・我々は大きな仕事を頼まれた。期待に応えるにはしっかり協力し合うことが必要だ。  
・わたしの教育方針を理解してもらうには時間がかかる。丁寧に説明していかなければならない。

C 文末の制限-2 決まった文末をとる副詞

副詞	文末	例
全く	否定	わたしは進学することは全く考えていない。 車の修理にはたいして費用はかからなかった。 こんな素晴らしい景色はめったに見られない。 健康についてはわたしは少しも心配していない。 わたしは料理に化学調味料は決して使いません。 なにもそんなに怒ることはないでしょう。 値段が高いものが必ずしもいいとは限らない。
どうも・どうやら もしかしたら 恐らく まさか きっと	推量・ 否定の推量	あの二人はどうやら恋人同士のようだ。 もしかしたら、林さんは今日来ないかもしれない。 恐らく週末は忙しくなるだろう。 まさか林さんは不合格にはならないだろう。 彼は今ごろきっと困っているに違いない。
まるで 今にも	ようたい 様態	地面に桜が散って、まるで雪が降ったかのようだ。 あの子は今にも泣き出しそうな顔をしている。
一段と・ますます 次第に・徐々に	へんか 変化	最近、太郎は一段と大人っぽくなった。 今後、経済は次第に回復していこう。
いったい 果たして	しつもん 質問	いったい君は何を考えているのか。 果たしてわたしの予想は当たるだろうか。
すでに	かんりよう 完了	すでに会場の準備は整っている。



練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 今、一番楽しみなのは、
  - a 富士山に登って頂上から日の出を見たい。
  - b 来週のパーティーで世界の各地から来た人たちと交流することだ。
- アンケートに答えた人の中には、
  - a 政治には全く期待できないという人もいた。
  - b 27%の人が、政治には期待できないと答えた。
- 都会で一人暮らしをする上で気をつけるべきことは、
  - a 防犯と日常の食事である。
  - b 防犯と食事には特に注意する必要がある。
- 最近の新入社員には、
  - a 指示を受けてからでないと行動できない傾向が見られる。
  - b どうも指示を待ってからでないと行動できないらしい。
- この事故の原因は、
  - a 運転手が長時間労働のため、睡眠不足だったようだ。
  - b 運転手の長時間労働による睡眠不足であるという。
- この複雑なデータを処理するには
  - a パソコンを使ってすぐやっておこう。
  - b パソコンを使っても半日はかかる。

練習2 どちらか適当な方を選びなさい。

マクラメが似合う季節になった。マクラメ編みのテーブルセンターやベルトなどが(① a よく見かける b 店先に並んでいる)。マクラメとは、ひもを何度も結び合わせて作っていく(② a 工芸が美しい b 工芸のことである)。ひものような細長いものなら何でも使える。麻糸、ビニールのひも、毛糸など。材料費がそれほど(③ a 高くないし b 安いし)、道具も全く(④ a 使わないから b 簡単だから)、だれでも作れる。

マクラメ(macrame)という(⑤ a 言葉は b 言葉には)、今は立派な英語になっているが、もともとは(⑥ a アラビア語になって b アラビア語で)、ミクラマ(miqrma)といい、交差して結ぶという意味である。独特の編み方、結び方はイスラム文化の中で生まれた人類の最も古い技術の(⑦ a 一つを言う b 一つである)。その後、北イタリアで盛んになり、今日に伝わる。19世紀、地中海貿易の船乗りたちも、恐らく長い船上での生活に退屈し、このマクラメを(⑧ a 覚えたのだ b 覚えたのだろう)。マクラメの材料に麻糸が使われることが多いのも、もしかしたら、それが彼らにとって唯一手に入る(⑨ a 材料だったからかもしれない b 材料だったと思われる)。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

最終的に私が出版を決断した理由はただ一つ、本書を手にとって下さった方が、改めて物語の魅力を確認し、物語の役割に目覚め、「ああ、本を 1 何と素晴らしいことであろうか」と思ってくれたら、との願いが 2 。

もし他所の星から来た生物が、本を読んでいる人間を見たらどう思うだろう、と私は想像することがあります。小さな箱型の紙の束を手にとり、ただじっと座っているだけで、あるいは寝転がっているだけで、時折、一枚紙がめくられる以外変化はなく、ただ静かに時間が過ぎてゆく。いくら辛抱強く待っていても、何か新しい製品が生み出されるわけでもない。 3 何の得があつて人間たちはこんな地味な営みをしているのか？ きっとそんなふうの首を 4 。

その時人間の心がどれほど劇的に揺さぶられているか、それは目に見えません。効果を数字によって測ることも不可能です。だからこそかけがえがないのだ、自分が自分であるための大切な証明になるのだ、ということ、くどいくらいに繰り返して語っているのが、 5 。

(小川洋子『物語の役割』ちくまプリマー新書による)

- 1 読めば 2 読むことは 3 読んでいれば 4 読んでいる人は
- 1 ありました 2 あつたというのです 3 あつたからなのです 4 あつたはずなのです
- 1 一体 2 確かに 3 どうやら 4 まさか
- 1 傾げたのです 2 傾げるでしょうか 3 傾げるようです 4 傾げるのではないのでしょうか
- 1 本書です 2 理由です 3 本書であきらかになります 4 本書の中で言いたいことです